

平成30年度

観光振興対策特別委員会資料



LREC 2018 MIYAZAKI ウェルカムパーティ：宮崎神宮

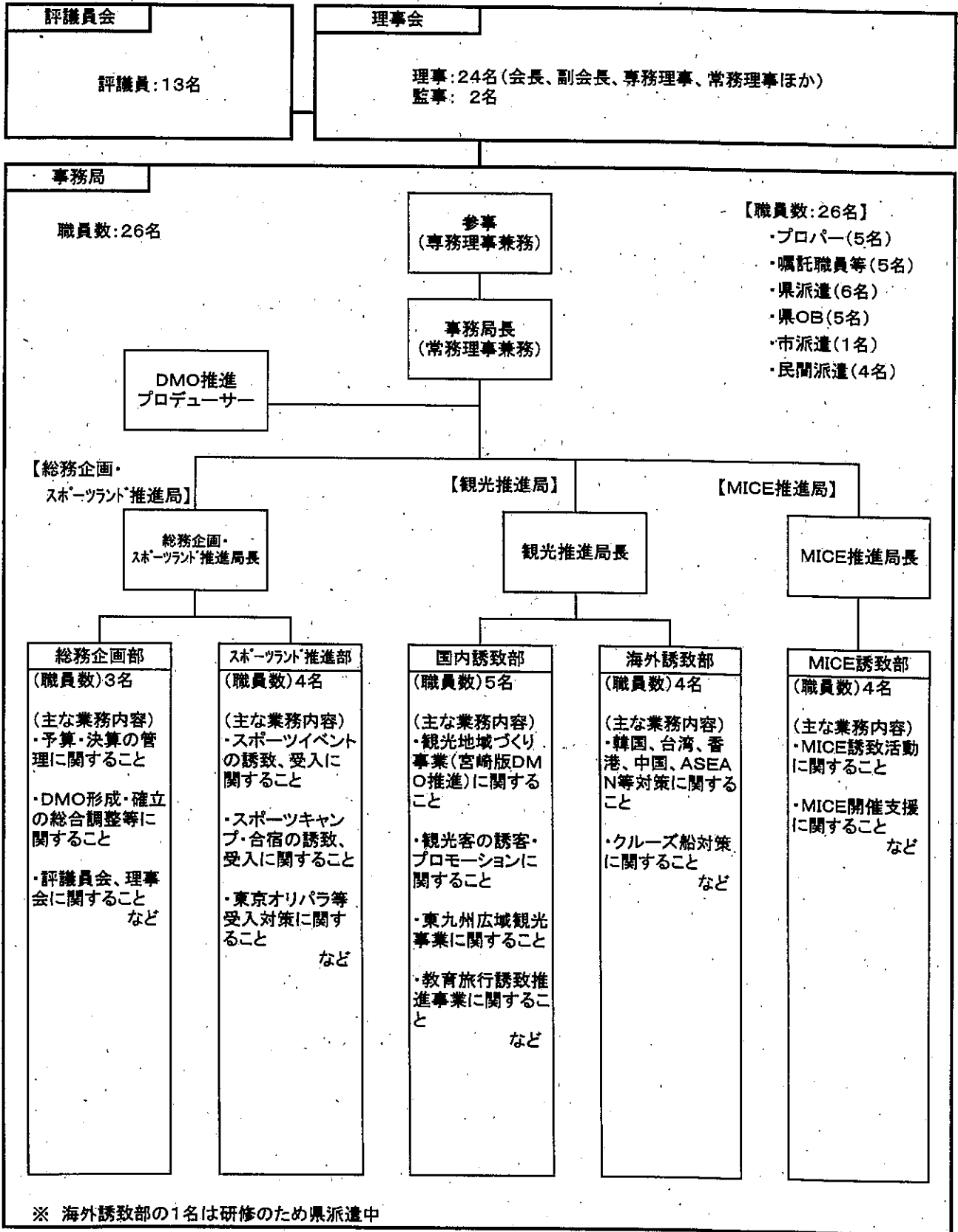
平成30年7月20日



公益財団法人
みやざき観光コンベンション協会

公益財団法人みやざき観光コンベンション協会 平成30年度組織図

平成30年6月27日現在



評議員・役員名簿（平成30年6月27日現在）

1. 評議員

13名（定数：11名以上16名以内）

氏名	所 属	任 期 (最終決算)	備 考
池ノ上 克	国立大学法人宮崎大学 学長	平成31年度決算	
井手 義哉	宮崎県商工観光労働部 部長	平成31年度決算	
菊池 克頼	公益社団法人宮崎市観光協会 会長	平成31年度決算	
黒木 定藏	宮崎県町村会 会長	平成31年度決算	
佐藤 哲章	一般社団法人高千穂町観光協会 会長	平成31年度決算	
塩月 光夫	宮崎瓦斯株式会社 代表取締役会長	平成31年度決算	
新開 明彦	九州電力株式会社宮崎支社 執行役員宮崎支社長	平成31年度決算	
谷口 由美繪	宮崎県地域婦人連絡協議会 会長	平成31年度決算	
戸敷 正	宮崎県市長会 会長	平成31年度決算	
長友 剛	一般社団法人宮崎青年会議所 理事長	平成31年度決算	
林田 洋二	株式会社宮崎太陽銀行 代表取締役頭取	平成31年度決算	
原田 賢一郎	宮崎市 副市長	平成31年度決算	
平野 亘也	株式会社宮崎銀行 代表取締役頭取	平成32年度決算	

2. 役員

(1) 理事

24名（定数：8名以上25名以内）

役職名	氏名	所 属	任 期 (最終決算)	備 考
会長	米良 充典	一般社団法人宮崎県商工会議所連合会 会頭	平成30年度決算	
副会長	甲斐 正樹	宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長	平成30年度決算	
副会長	宮野原 佳	九州旅客鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部 部長	平成30年度決算	
専務理事	高岡 敬明	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会 参事	平成30年度決算	
常務理事	橋本 江里子	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会 事務局長	平成30年度決算	
理事	橋本 一臣	宮崎カーフェリー株式会社 代表取締役社長	平成30年度決算	
理事	伊藤 洋一	日本航空株式会社宮崎支店 支店長	平成30年度決算	
理事	宇戸田定徳	宮崎県漁業協同組合連合会 代表理事会長	平成30年度決算	
理事	川端 史敏	宮崎交通株式会社 常務取締役	平成30年度決算	
理事	児玉 英明	一般社団法人宮崎県バス協会 専務理事	平成30年度決算	
理事	酒匂 重久	宮崎県商工観光労働部 観光経済交流局長	平成30年度決算	
理事	佐多 裕之	公益財団法人宮崎県体育協会 専務理事	平成30年度決算	
理事	佐多 芳大	公益社団法人宮崎県物産貿易振興センター 理事長	平成30年度決算	
理事	新森 雄吾	宮崎県経済農業協同組合連合会 代表理事会長	平成30年度決算	
理事	代口 修	宮崎県飲食業生活衛生同業組合 前・理事長	平成30年度決算	
理事	高橋 宏輔	株式会社ソラシドエア 代表取締役社長	平成30年度決算	
理事	長濱 保廣	宮崎空港ビル株式会社 代表取締役会長	平成30年度決算	
理事	永見 貞幸	宮崎市観光商工部 部長	平成30年度決算	
理事	橋村 康弘	一般社団法人日本旅行業協会九州支部 宮崎県地区委員会 委員長	平成30年度決算	
理事	春山 豪志	株式会社宮崎放送 代表取締役会長	平成30年度決算	
理事	洲上 明彦	全日本空輸株式会社宮崎支店 支店長	平成30年度決算	
理事	松永 裕文	フェニックスリゾート株式会社 代表取締役社長	平成30年度決算	
理事	森 大一郎	西日本電信電話株式会社宮崎支店 支店長	平成30年度決算	
理事	吉本 悟朗	一般社団法人宮崎県タクシー協会 会長	平成30年度決算	

(2) 監事

2名（定数：2名以内）

氏名	所 属	任 期 (最終決算)	備 考
奥野 信利	宮崎県商工会連合会 専務理事	平成31年度決算	
豊島 美敏	一般社団法人宮崎県商工会議所連合会 専務理事	平成31年度決算	

平成29年度事業実績

I 観光振興

(119,326千円)

【重点事項】 魅力ある観光地域づくりの推進

地域連携DMO候補法人として「宮崎版DMO」を推進するため、専門人材を新たに配置し、体制の強化を図るとともに、県内全市町村を訪問し、地域の新たな観光素材の発掘や地域が抱える課題等について調査を実施した。

その結果に基づき、県内の4ブロック（県北、県央、県西、県南）ごとに広域での周遊ルートの形成と体験・交流型観光体験メニューの充実化・商品化を目指す方針を策定し、まずは、県内の先進例とするために、民間主導の取組が先行している県北地域への支援を実施し、魅力ある観光地域づくりに取り組んだ。

1 観光情報の発信・提供

本県の観光資源やタイムリーな情報の発信・提供

(1) 協会HP「旬ナビ」活用による情報発信

平成29年度4月～3月アクセス件数 約247万件

(2) NHK宮崎放送局ローカル番組を活用したPR

紹介件数：26市町村で延べ33イベントの情報を発信

(3) 新聞・雑誌等広告 ほか

マスメディア広告やパブリシティの活用等により、本県への観光誘客を促進

2 観光プロモーション活動

県外（東京、大阪、広島、福岡等）での観光イベント等に出展し、宮崎の認知度を高め誘客を推進

地域	計画	実施済	主なもの
関東	2	2	・ツーリズムEXPOジャパン（東京都） ・「ノゾ ヌル宮崎in東京」海外旅行招請（東京都）
関西	3	3	・九州沖縄観光・物産展（大阪市） ・「三宮コレクション」観光プロモーション（神戸市）
中国	2	2	・九州沖縄春の大観光展（広島県府中市） ・「ちゅーぴーまつり2017」観光プロモーション（広島市）
九州	1	1	・みやざきスペシャルDAYS（福岡市）
合計	8	8	—

3 旅行商品造成に向けた取組

(1) 旅行会社等との連携

① 宮崎の着地型素材を取り込んだ旅行会社等が企画する旅行商品造成支援
支援件数 3件（ANA「旅ドキ」、読売旅行「ロマンの旅」、
JR九州「宮崎日南の旅」）

② 旅行会社視察等受入

受入件数 3件（JR九州、読売旅行、クラブツーリズム）

- (2) 九州7県合同観光素材等説明会（九州観光推進機構主催）への参加
- ・4～5月（29年度下期版） 東京、名古屋、大阪、広島、福岡
 - ・8～9月（30年度上期版） 東京、名古屋、大阪、福岡

4 観光地域づくりの推進

(1) 世界農業遺産を活用した誘客促進

高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産活性化協議会及び関係5町村等と連携し、世界農業遺産を切り口とする新たな旅行商品の磨き上げ及びテスト販売を実施した。

- ・旅行商品の磨き上げ及びテスト販売等に向けた関係者によるワークショップの開催（延べ3回）
- ・旅行商品のテスト販売及びツアー催行（商品造成数7件 参加者実績40名）

(2) 新たなみやざき旅企画商品の造成

酒造会社や飲食業及び市町村等と連携し、宮崎の焼酎と観光素材を組み合わせた企画商品の造成

- ・企画商品名 本格焼酎と宮崎旅「ノンジョルノ」（平成30年度下期～）

③ (3) 魅力ある観光地域づくりに対する支援

地域が主体となって進める新たな観光地づくりについて、地域の認知度向上や誘客促進に繋がり、継続性や地域の連携が図れる取組に対し支援を実施

- ・訪日外国人旅行者へ高千穂・別府間周遊ルートを紹介するための情報発信事業（宮崎県ホテル旅館組合青年部）
※大分県ホテル旅館組合青年部との共同事業として実施
- ・北郷温泉郷の地域資源（温泉・焼酎・野鳥）を生かした観光地づくり促進事業（北郷温泉旅館組合）

5 東九州自動車道を活用した誘客促進

大分県等と連携して北部九州、中四国を主なターゲットにしたPRや旅行会社等へのセールスを実施

(1) メディア等を活用したPR

- ・新聞社広告（1回）、季刊旅雑誌（1回）、フリーペーパー（4回）、テレビ（2回）
- ・じゃらんnet特設ページ設置（4ヶ月）

(2) 旅行会社等へのセールス

キャラバン隊を結成 各地を訪問（鹿児島、広島、福岡）

(3) NEXCO西日本との連携

九州の高速道路が定額で乗り放題となる割引企画「九州よかよかドライブパス2017」を活用したおすすめモデルコースと観光スポットを紹介するチラシを作成し、東九州自動車道の利用と本県への誘客を促進

- ・「九州よかよかドライブパス2017」
実施期間 平成29年7月15日～12月17日

- ・NEXCO西日本との連携イベントへの参加
開催日 平成29年8月19日～20日
場所 霧島サービスエリア

6 教育旅行誘致

宮崎県教育旅行誘致推進協議会（事務局：みやざき観光コンベンション協会）を核として、県内関係機関・団体、民間事業者等とオールみやざきで誘致を推進

(1) 教育旅行担当者招請人数

	首都圏	関西	鹿児島	計
旅行社	—	26	—	26
学校	7	15	5	27

*首都圏／高校・定時制高校、関西／高校・中学校、鹿児島／小学校

(2) 関係機関・団体と連携したセールスプロモーション

① セールス訪問件数

	首都圏	関西	広島	福岡	沖縄	台湾	計
旅行社	6	27	4	12	5	3	57
学校	—	75	—	11	35	—	121

*首都圏／高校、関西圏／高校・中学校、福岡・沖縄／中学校、鹿児島／小学校

② 教育旅行素材説明会への参加

*説明会場別参加人数

	東京	名古屋	大阪	岡山	台湾	計
旅行社	75	42	45	25	—	187
学校	27	13	17	10	201	268

国内：教育旅行素材説明会（九州観光推進機構主催）

台湾：JNTO主催

(3) 教育旅行ガイドブックについて、国の新学習指導要領に沿った改訂を行い、宮崎ならではの教育体験メニューの提案を強化

<参考>

○ 教育旅行受入状況

年度	小学校等		中学校		高等学校等	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
平成29年度	11	372	16	2,778	11	1,534
平成28年度	55	2,311	6	1,364	9	1,742
平成27年度	8	345	12	1,999	22	2,394

定時制高等学校		国外		合計	
校数	人数	校数	人数	校数	人数
1	46	19	1,152	58	5,882
—	—	13	1,415	83	6,832
—	—	13	863	55	5,601

7 インバウンド対策

急増する訪日外国人旅行者を本県へ取り込むため、国際定期便が就航する国・地域を中心に、関係機関等とも連携してセールス、PR等を実施するとともに、ラグビーワールドカップや東京オリ・パラを控え、更なる誘客を図るためのニーズ調査等を実施

(1) 東アジア及び東南アジア市場

地域	主な取組み
韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・セールス（3回 ソウル・釜山） ・九州観光説明会及び商談会（1回ソウル・釜山） ・旅行会社等招請（2回30名） ・ホームショッピングでの旅行商品販売支援（4社） ・ゴルフ商品新聞広告支援（2社） ・アジアナ航空冬期増便 旅行社送客支援（5社）
台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・セールス（4回 台北） ・旅行会社等招請（1回8名） ・旅行博出展（1回）
香港	<ul style="list-style-type: none"> ・セールス（3回） ・宮崎県観光説明会及び商談会（1回） ・旅行会社等招請（3回6名） ・旅行博出展（1回） ・香港航空共同PR（2企画）
中国	<ul style="list-style-type: none"> ・セールス（2回 上海・昆明） ・九州観光説明会及び商談会（2回） ・マスコミ及びブロガー招請（1回3名） ・旅行会社等招請（1回4名）
アセアン (タイ)	<ul style="list-style-type: none"> ・セールス（2回） ・観光説明会及び商談会（1回） ・博覧会出展（1回） ・旅行会社等招請（1回4名）

(2) クルーズ船誘致

県内3港の特性と周辺地域の観光資源を生かし、南九州のクルーズの拠点を目指して他県とも連携して、誘致セールスや旅行会社等招請を実施

- ・セールス及びセミナー参加（3回上海・台北）
- ・船社や旅行会社等招請及び視察受入（5回4社）

⑧ (3) 欧米豪市場

ANAと連携して、欧米豪市場からの誘客を図るための旅行商品を造成する目的で、在日欧米豪（英国、フランス、ドイツ、米国、豪州）の方々を招請し、国ごとのニーズ等を調査

- ・実施日 平成30年2月13日～ 2月17日（6名）

(4) ビジット・ジャパン事業（VJ事業）への参加

外国人旅行者の誘客を図るために、九州運輸局並びに九州観光推進機構・地方（自治体、観光関係団体等）連携による誘客プロモーション事業に参加

国名	事業名	連携先
韓国	東九州・ウエルネスツーリズムPR事業	ツーリズム大分・北九州市
台湾	台湾パワーブロガーによる台湾FIT向けSUN Qパスを活用した九州周遊ルートの情報発信及び九州のバス旅行の魅力発信事業	福岡市・鹿児島県観光連盟・西日本鉄道（株）
香港	香港市場におけるFIT向け南九州ヘルスツーリズムPR事業	熊本県観光連盟・鹿児島県観光連盟

⑤ (5) 個人訪日旅行者向けアンケート調査の実施

過去に海外旅行経験のある外国人を対象に、今後のプロモーションの方法を検討する資料となる基礎データを収集するためのWEBアンケート調査を実施

さらに、宮崎県を訪れた事のある外国人を対象に、宮崎の観光コンテンツの認知度や興味関心度、満足度等を把握するためのヒアリングを実施

<参考>

○定期便利用状況

・宮崎ーソウル

年度	搭乗者数	うち外国人	搭乗率	前年比	備 考
平成29年度	45,327人	38,693人	69.3%	105.5%	OZ週3便。冬期週2便増便。
	12,485人	11,597人	76.2%	-	ZE週3便。平成29年12月21日就航。
平成28年度	42,950人	35,145人	69.6%	101.2%	OZ週3便。冬期週1便増便。
平成27年度	42,461人	36,853人	69.5%	107.1%	OZ週3便。

※OZ(アジアナ航空)、ZE(イースター航空)

・宮崎ー台北

年度	搭乗者数	うち外国人	搭乗率	前年比	備 考
平成29年度	26,897人	19,509人	80.3%	101.6%	平成30年3月6日より週3便。
平成28年度	26,482人	17,700人	64.9%	78.8%	平成28年10月31日より週2便。
平成27年度	33,604人	23,689人	69.3%	96.7%	

・宮崎ー香港

年度	搭乗者数	うち外国人	搭乗率	前年比	備 考
平成29年度	26,216人	23,392人	72.5%	110.2%	
平成28年度	23,794人	21,788人	65.7%	99.6%	
平成27年度	23,885人	22,784人	65.4%	-	

○クルーズ船寄港状況

年度	細島港	宮崎港	油津港	合 計	乗客数(外国人)
平成29年度	11(6)	1	26(22)	38(28)	約81,000人
平成28年度	8(5)	2	20(16)	30(21)	約60,000人
平成27年度	1(1)	0	10(7)	11(8)	約16,000人

* () 内：外国船を再掲

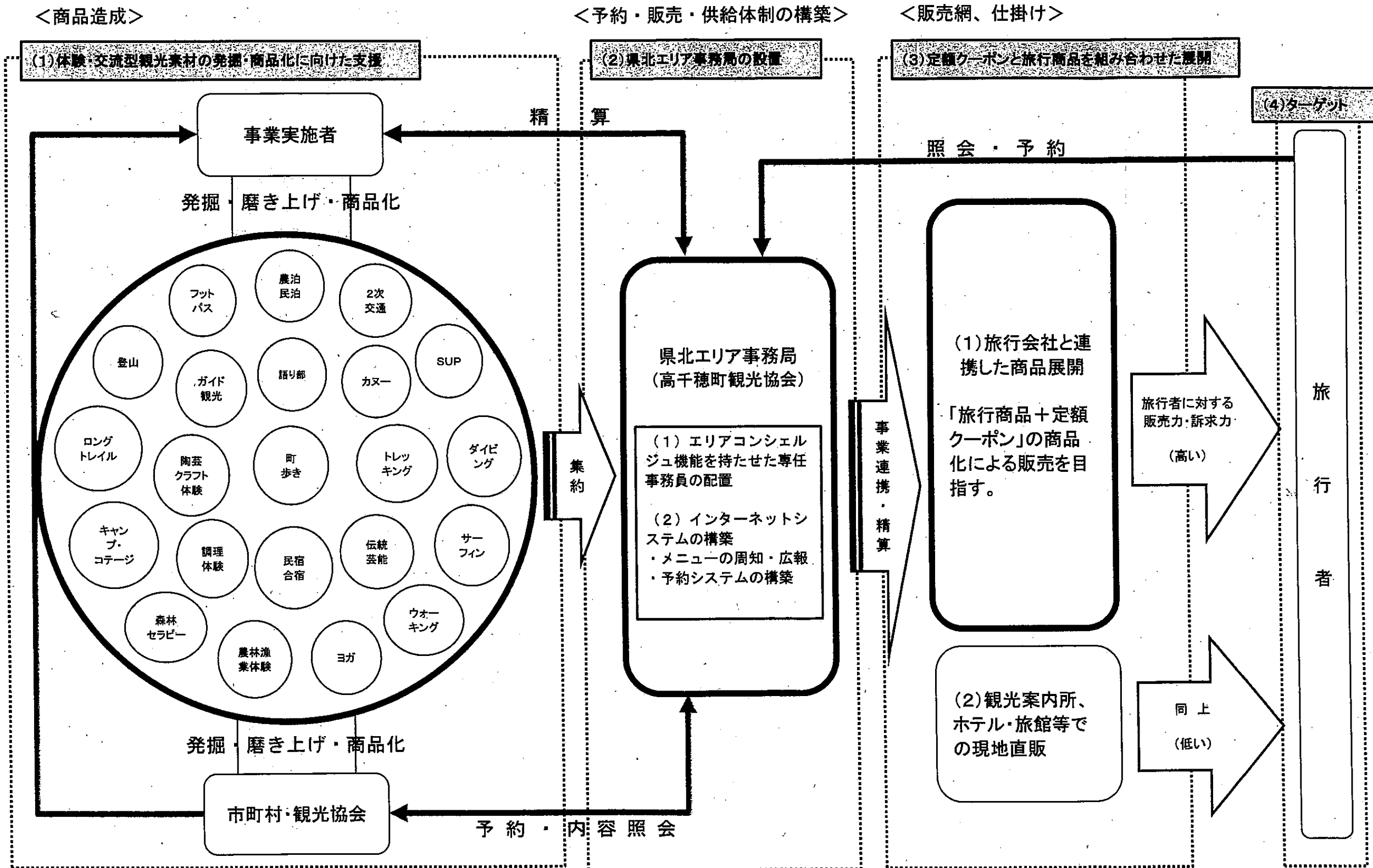
<DMO東北旅行商品化支援の取り組み>

※【重点事項】魅力ある観光地域づくりの推進関連

昨年10月から下記の内容を東北9市町村に提案し、対象市町村・観光協会の賛同に基づき、本年2月から各市町村観光協会主導のプロジェクトを立ち上げ、現在商品化のための準備を進めている。

- 1 目的：高千穂を中心とした東北地域への県外旅行客の連泊滞在、東北周遊促進による観光消費額の増加
- 2 実施事項：東北9市町村（延岡市・日之影町・高千穂町・五ヶ瀬町・椎葉村・諸塚村・美郷町・門川町・日向市）の体験交流型観光素材の旅行商品化
- 3 実施時期：平成30年10月から平成31年3月の商品化
- 4 商品内容：旅行会社（JTB）の国内個人旅行商品エースJTBの九州域内販売宮崎商品
※商品化の狙い…体験交流型旅行素材をクーポン化し、一定金額をあらかじめ旅行代金に含んで販売することにより、東北各市町村の観光事業者や地域住民が提供する高品質のサービスを県外旅行客に伝え、通過型から滞在型観光の需要を掘り起こす。
- 5 商品構成：体験交流型メニュー（約70メニュー）・2次交通補完型の観光タクシー商品・旅の動機付けを目的とした季節もの出発日限定月例スペシャルツアーなど
- 6 実施母体：県北市町村・観光協会が構成する商品化プロジェクト
事務局は高千穂町観光協会（専任者を1名配置）
宮崎県北部広域行政事務組合（事務局：延岡市）の事業として本年度から3ヶ年予算化済み
- 7 当協会の役割：各市町村で独自に進めていた取り組みを、広域の協力体制を促すことにより、県外旅行客のニーズに応える商品づくり、本格的に流通経路に乗せていくための外部交渉や受入体制づくりの支援を行っている。

○ 県北(2市5町2村)を対象とした「体験・交流型観光素材」の旅行商品造成・販売・供給体制のスキーム



Ⅱ スポーツランド推進

(46,630千円)

【重点事項】 新たなスポーツ大会・合宿の誘致

スポーツ合宿誘致の「全県化」、「多種目化」、「通年化」を推進するため、国内・国外の社会人や大学生等の合宿誘致を積極的に取り組むとともに、県内全市町村の合宿受入状況の確認や受入可能な施設の調査を行った他、新たに受入実績の少ない屋内種目の誘致セールスや韓国学生野球の冬季合宿誘致に重点的に取り組んだ。

1 スポーツイベント等開催促進

全国大会等、経済効果の高いスポーツイベントの開催支援

(1) 野球

- ① プロ野球ファーム日本選手権 (10/7) [宮崎市] 観客数 6,225人
- ② プロ野球秋季教育リーグ『みやざきフェニックスリーグ』(10/9~30)
[宮崎市、日南市、西都市、日向市] 試合数85試合 観客数 15,596人
- ③ 東京六大学野球オールスターゲーム (8/26) [宮崎市] 観客数 3,800人

(2) ゴルフ

- ① ダンロップフェニックストーナメント (11/16~19) [宮崎市] 観客数 17,813人
- ② LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ (11/23~26) [宮崎市] 観客数 13,441人
- ③ アクサレディスゴルフトーナメント (3/23~25) [宮崎市] 観客数 14,529人

(3) その他

- ① I SA世界ジュニアサーフィン選手権 (9/23~10/1) [日向市] 観客数 38,200人
- ② I TUトライアスロンワールドカップ宮崎2017 (11/4~5) [宮崎市] 観客数 15,000人
- ③ 第31回青島太平洋マラソン (12/10) [宮崎市] 出場者 12,130人

2 スポーツキャンプ等受入支援

(1) プロスポーツ盛り上げ支援

プロ野球、Jリーグサッカー、大相撲等、プロスポーツの宮崎キャンプ・合宿等に対する県産品の贈呈や歓迎事業等の支援

- ① プロ野球 10球団 (日本)巨人、広島、西武、ソフトバンク、オリックス、楽天、ヤクルト、(韓国)斗山、ハンファ、KTウィズ
※侍ジャパン秋季合宿
- ② Jリーグ 17チーム (J1) 6チーム：広島、C大阪、横浜FM、川崎、鹿島、仙台
(J2) 10チーム、(J3) 1チーム
- ③ 大相撲 3部屋 東関部屋、武蔵川部屋、陸奥部屋
- ④ 日本代表 8種目 男子柔道、女子ウエイトリフティング、スピードスケート、トライアスロン、パラトライアスロン、日本陸上競歩、侍ジャパン女子野球、ろう者サッカー男子 (宮崎市)
- ⑤ 海外代表 2種目 ドイツ柔道 (延岡市)、マカオトライアスロン (宮崎市)

(2) アマチュアスポーツ盛り上げ支援

社会人や大学生等、宮崎でキャンプ・合宿を実施する団体に対する県産品の贈呈や、初めての合宿する団体に対して経費の一部を助成

① 社会人・大学生等合宿 13団体（野球、ラグビー、ビーチバレー等）

（宮崎市8、都城市2、小林市1、日向市1、綾町1）

② 合宿支援を行った団体数 45団体（野球、サッカー、テニス等）

（宮崎市8、都城市3、延岡市1、日南市2、西都市2、串間市3、えびの市1、綾町1、川南町1、門川町1、高千穂町1）

3 スポーツキャンプ・合宿誘致対策

(1) 誘致セールス等

大学・実業団等を対象に誘致セールスや誘致セミナーを実施

〈誘致セールス〉

関東・関西・九州の旅行代理店、社会人・大学等 36件

〈誘致セミナー〉

関西地区 13大学30団体

(2) 韓国野球エージェントの視察受入対応

これまで利用の少なかった1月の合宿誘致のため、韓国のエージェントの視察受入に対応した結果、韓国学生野球が4チームから6チームに増加した。

（宮崎市1、都城市1、西都市1、串間市1、三股町1、綾町1）

(3) 東京オリパラ等受入対策

スポーツ団体等のキーパーソンを招請し、スポーツ施設や宿泊施設のほか、本県の豊富な食材や豊かな自然をPRし、本県のスポーツキャンプ環境をアピール

〈視察受入実績〉

① カナダトライアスロン・パラトライアスロンチーム視察受入

平成29年6月1日～4日

② イングランドラグビー協会視察受入

平成29年8月10日～11日、12月8日～9日

③ イギリスパラトライアスロンチーム視察受入

平成29年9月5日～6日

④ イタリアトライアスロンチーム視察受入

平成29年11月2日

⑤ ドイツ陸上連盟視察受入

平成30年1月8日～11日

⑥ 駐日アゼルバイジャン大使視察受入（柔道、レスリング、テコンドー、空手）

平成30年2月8日

(4) 情報発信

プロ野球及びJリーグの春季キャンプへの誘客を図るため、キャンプガイドマップ（8万部）やポスター（800部）等を作成し、道の駅等に配付

また、SNS「みやざきスポコミュ」により、キャンプ情報をファンと共有するとともに、キャンプ風景やスポーツイベント情報を掲載し全国へ情報発信

※キャンプガイドマップについては、宮崎空港歓迎美化協議会も5万部発行

4 スポーツメディカル推進

スポーツ団体等がメディカル検査を受診する際の補助制度について、周知を図ったほか、メディカル検査を実施している宮崎大学医学部を日本トライアスロン連合関係者が視察

5 ゴルフ王国宮崎振興

女子プロゴルフ最終戦となるリコーカップの観戦バスツアー企画に対する支援
〈ツアー参加者数〉

- ・熊本、鹿児島、大分からのバスツアー（87名）

Ⅲ M I C E 推進

(73,536千円)

【重点事項】 M I C E 誘致の更なる強化

関西地区へのM I C E 誘致セールスの強化を図り、着実に本県での開催に結び付けている。

また、訪日旅行者数が年々増加する中で、東南アジア市場からの訪日需要はあるものの、M I C E に関しては、まだ大型のインセンティブの誘致には繋がってはいないため、海外インセンティブ旅行を主催する旅行会社への補助制度について、韓国・台湾・香港での商談会・個別セールスでの周知を図った。

1 M I C E 推進体制

(1) みやざきM I C E 推進協議会総会の開催(2月)

県内48関係団体で組織のMICE推進協議会を平成30年2月14日(水)に開催

(2) M I C E 講演会実施(2月)

産学官が連携して誘致する機運の醸成等を行うため、M I C E 講演会を開催
「M I C E 誘致につながる魅力・人・技術」と題して日本政府観光局(JNTO)認定MICE誘致アンバサダー 豊橋技術科学大学教授の井佐原 均氏による講演

(3) 宮崎県M I C E アンバサダー会議開催(11月)

本県へのMICE誘致活動を推進するため、学識、名声があり、専門分野に影響力のある方をMICEアンバサダーとして委嘱。アンバサダーより誘致活動についての情報提供及び助言等を依頼

<アンバサダー一覧>

- 伊東 正一 氏(九州大学大学院教授)
- 水光 正仁 氏(宮崎大学理事・副学長)
- 明石 良 氏(宮崎大学副学長)
- 田村 宏樹 氏(宮崎大学工学教育研究部教授)
- 永田 順子 氏(宮崎大学医学部講師)

(4) M I C E 功労者表彰(2個人、1団体表彰、2月)

本県での開催に特段の貢献をされた個人や団体等を対象に表彰を行い、気運の醸成と関係者の意識向上を図る

- ・ 宮崎大学医学部教授 中里 雅光氏
日本内分泌学会学術総会の誘致
- ・ 豊橋技術科学大学教授 井佐原 均氏
LREC（言語資源と評価に関する国際会議）の誘致
- ・ IEEEシステム・マン・サイバネティクス実行委員会
2018年IEEEシステム・マン・サイバネティクス国際会議の誘致

2 MICE誘致

⑧ (1) 個別誘致セールス（17回）

大都市圏（東京、関西、福岡）での学術会議事務局や医学系、工学系の大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への訪問を強化し、誘致を促進

(2) 学術会議等誘致推進懇談会（9月：東京、10月：福岡）

誘致可能性のある学術会議等の事務局や大学、企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、当協会の支援制度等の説明や情報交換会を行い誘致を促進

(3) 国内外MICE・キーパーソンの招請

学会関係者等MICE決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎の会議施設、アフターMICEとなる観光地等の視察を実施し、誘致を促進

【国内9件(内8件決定、内1件検討中)国外7件(内5件決定、内2件他県開催)】

(4) 国際MICE誘致

国際MICE、海外インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局主催の商談会・見本市への参加、個別セールスの実施

① MICE商談会・見本市への参加（Japanトラベル&MICEマート
2017出展9月、IME参加2月、Meet Japan参加3月）

② 現地セールス【台湾（1月）、韓国（11月、3月）、香港（6月）】

3 MICE開催支援

(1) MICE開催支援補助金交付（57件）

- ・ 基準を満たす九州規模以上の大会へのMICE開催支援補助金の交付

(2) その他支援

上記開催支援補助金対象外のMICEについて、歓迎看板設置等を支援

- ・ 歓迎看板や横断幕、バナーの設置（39件）
- ・ 郷土芸能等の披露（4件）
- ・ 交通アクセス支援（4件）
- ・ 各種パンフ（グルメ&ナイトマップ等）等の提供、歓迎横断幕貸出

4 広報・宣伝

セールス用パンフレット、MICE専用PR動画やHP「旬ナビ」、学会の機関紙等で“みやざきMICE”の魅力を広く情報発信し、本県の開催イメージ・ブランド力のアップ

5 調査・企画・開発

(1) 調査・企画

開催情報の収集及び提供

(2) 研修等参加

MICE推進団体の会議、研修に参加し、職員のMICE業務能力向上、情報収集力を高めるとともに、交流による人脈づくりを推進

(3) MICEメニュー開発

誘致促進を図るため、広域的かつ多様なメニューを開発し、利用を促進

MICE開催件数

(件、人)

年度	29	28	27	26	25
件数	224	194	195	193	176
延参加者数	216,321	219,948	218,674	217,780	239,517

平成29年度開催及び平成30年度開催予定の主な大型MICE

(人)

開催期日	名称	参加者数	延人数
平成29年度			
5月19日～21日	第87回九州眼科学会	509	1,527
6月22日～23日	第42回部落解放・人権西日本夏季講座	2,530	5,050
7月26日～28日	九州地区公立学校教頭会研究大会	1,013	3,039
9月8日～9日	第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会	1,165	2,600
9月17日～18日	第78回九州山口薬学大会	2,856	3,175
10月13日～14日	第55回日本糖尿病学会九州地方会	1,431	2,862
11月5日～9日	2017年国際溶媒抽出学会	329	1,400
平成30年度			
4月26日～28日	第91回日本内分泌学会学術総会	2,500	7,500
5月7日～12日	LREC（言語資源と評価に関する国際会議）	1,000	4,000
10月4日～7日	第67回日本青年会議所全国大会	5,500	22,000
10月7日～10日	2018年IEEEシム・マシナリィ国際会議	800	3,200
3月6日～10日	日本商工会議所青年部第38回全国大会	5,000	19,000

